

すぐに役立つセメント系補修・補強材料の基礎知識 第2版 正誤表(案)

頁	行番号	誤	正
27	1	建築改修工事 管 理指針	建築改修工事 監 理指針
62	10	したがって、断面 収縮 工法に	したがって、断面 修復 工法に
79－80	47	■保水係数 注入材の保水性が高いと、 接着不良 の原因となる場合がある。逆に、保水性が低いとドライアウトや 注入性 の低下の原因となる。	■保水係数 注入材の保水性が高いと、 注入性の低下 の原因となる場合がある。逆に、保水性が低いとドライアウトや 接着不良 の原因となる。
87	表-5.23	脱塩、再アルカリ化工法の主な特徴 ⁴⁴⁾	脱塩、再アルカリ化工法の主な特徴 ²⁹⁾
105	5	鉄筋が腐食している場合の はつり深く は…	鉄筋が腐食している場合の はつり深さ は…
106	20	計量装置を配備し、行わなければならない。	計量装置を配備し、 計量 を行わなければならない。
107	15	注入作業中は、断面修復材の 材料 を招くため、パイプレーターで…	注入作業中は、断面修復材の 材料分離 を招くため、パイプレーターで…
121	図-6.20	電気防食工法の施工フロー及び注意事項 ⁹⁾	電気防食工法の施工フロー及び注意事項
135	5	JIS A 6204	JIS A 1148

なお、本書では発刊当時の規格や引用文献を適用しているため、規格(値)等は、最新版と相違ないかをご確認の上ご活用下さい。